

** 2017年6月改訂(第5版)(新記載要領に基づく改訂)
* 2009年4月改訂(第4版)

* 届出番号 : 09B1X00004000120

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 輸液用連結管 70399000

導入セット

再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

<本品の代表図>



- 各部品は省略、又は追加される場合もある。
- 本品はポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)を使用している。

*【使用目的又は効果】

- 本品は滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。
- チューブの両端に薬液瓶又は他の器具との接続部をもつ連結管をいう。輸液で薬液瓶内の液を移すために用いる。

【使用方法等】

- 下記の説明は、一般的な使用方法である。

<輸液剤の混合または血液成分の分離を行う場合>

1. 輸液剤容器がびんの場合、適当なエア針を用いてびん内を平圧にする。
2. クレンメが付いている連結管の場合はクレンメを閉じてから、びん針のプロテクターをはずし、輸液剤容器のゴム栓の○印箇所(または血液バッグの排出口)に順次まっすぐいっばいの深さまで刺通して連結する。
3. クレンメが付いている連結管の場合はクレンメを開けてから、落差あるいは一方の加圧により液を移動させる。

注意 針型びん針は血液バッグに連結しないこと。

<連続輸液または混合輸液を行う場合>

1. クレンメが付いている連結管の場合はクレンメを閉じてから、びん針のプロテクターをはずし、輸液剤容器のゴム栓の○印箇所に順次まっすぐいっばいの深さまで刺通して連結する。
2. 1番目の容器に輸液セットをつける。
3. 輸液剤容器がびんの場合は連結した最後の容器(輸液セットが接続されていない方)にエア針をまっすぐ根元までさす。
4. 容器につきし輸液セットの使用方法に従ってセット内に液を流し、点滴や容器内の液の移行を観察しながら輸液を行うこと。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意すること。
- びん針等の針部には直接手を触れないこと。
- ソフトバッグでの輸注に連結管は使用しないこと。
- プラスチック型びん針の場合、ゴム栓に対して斜めに刺通したり刺通中に横方向の力を加えないこと。びん針に曲がりや破損が生じる場合がある。
- 脂溶性の医薬品等ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出するおそれがあるので注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

[使用期限]

- 包装(ラベル)に使用期限を表示している。[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

フォルテグロウメディカル株式会社
電話番号 0283-22-2801